

市民の皆さんへ

新年のごあいさつ



江別市議会議長
尾田 善靖

安心・安全で希望に満ちたまちづくりを

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、幸い江別市では大きな災害などはありませんでしたが、東日本大震災の被災地は未だ復旧・復興の途上であります。普段からの備えを、特に冬季においては大切にしたいと思ふところです。

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、幸い江別市では大きな災害などはありませんでしたが、東日本大震災の被災地は未だ復旧・復興の途上であります。普段からの備えを、特に冬季においては大切にしたいと思ふところです。



江別市長
三好 昇

地元企業・大学・研究機関などとの連携で、地域経済の活性化を

今年は、これから日本の方針を示す政治改革の中で新しい年を迎えることになりました。依然として続く日本経済の低迷は、江別経済にも暗い影を落とします。そこで、昨年に国が指定を受けた「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」では、市内企業が初めて金融上の支援措置を受けるなど、新たな芽も出てきています。今後とも市内の企業・大学・研究機関などの連携

市民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、これまで日本の方針を示す政治改革の中で新しい年を迎えることになりました。依然として続く日本経済の低迷は、江別経済にも暗い影を落とします。そこで、昨年に国が指定を受けた「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」では、市内企業が初めて金融上の支援措置を受けるなど、新たな芽も出てきています。今後とも市内の企業・大学・研究機関などの連携

を進め、地域経済の活性化につなげまいりたいと考えております。

まちづくりでは、昨年6月に野幌高架駅が完成し、北口駅前広場の工事、8丁目通りの街路事業も着手となりました。今年はいよいよ南北に分断された市街地の

一体的な形成、コンパクトなまちづくりが進むことになります。

環境では、昨年誘致した大規模太陽光発電施設が2月中旬には運転開始となります。電力不足が懸念される中、自然エネルギーを有効的に活用し、今後も環境に配慮したまちづくりを推進してまいります。

また、昨年は嬉しいニュースも

ありました。江別で生まれ育った陸上十種競技の右代啓祐選手がこの種目としては、日本人で48年ぶりにオリンピック出場を果たしました。次代を担う江別の子ども達が、右代選手に続き世界で活躍することを期待しております。

今年は現総合計画の仕上げの年であります。計画で示した都市像「人が輝く共生のまち」の実現に向けて、自治基本条例のもと市民の皆さんと協働して魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

新たな年が市民の皆さんにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、今、地方自治体が担う役割は、地方分権改革の進展などから、ますます重要性を増してきております。当市議会としても、今まで以上に市民に選ばれた代表として、自らの考え方や活動を積極的に市民に開示し、市民の市政への関心を高めていく必要があると感じております。

そうした中で、当市議会では、活力ある議会の実現を目指し、議会や議員の活動原則などをとりまとめた議会基本条例の制定について検討をしてまいりました。このほど案がまとまりました。

本年も、皆さまからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、江別市のさらなる発展と市民の皆さまのご健勝をご祈念申し上げま

